

貸借対照表

(単位:千円)

エスケーアイマネジメント株式会社

2023年9月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	441,233	【 流 動 負 債 】	337,734
現金及び預金	399,168	買掛金	34,922
売掛金	24,288	1年内返済予定の長期借入金	130,610
商品	3,299	未払法人税等	34,259
貯蔵品	1,064	契約負債	88,012
その他	13,412	賞与引当金	11,815
【 固 定 資 産 】	1,176,540	その他	38,115
(有形固定資産)	1,041,612	【 固 定 負 債 】	776,275
建物及び構築物	528,805	長期借入金	752,750
土地	512,350	資産除去債務	23,525
その他	456	負債の部計	1,114,010
(無形固定資産)	177		
ソフトウェア	177	純資産の部	
(投資その他の資産)	134,750	科 目	金 額
長期前払費用	93,744	【 株 主 資 本 】	503,763
繰延税金資産	4,427	【 資 本 金 】	490,000
差入保証金	36,577	【 資 本 剰 余 金 】	400,000
		【 利 益 剰 余 金 】	△ 386,236
		純資産の部計	503,763
資産の部計	1,617,774	負債・純資産の部計	1,617,774

(注)記載金額は、千円単位を切り捨てて表示しております。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの
 時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
 市場価格のない株式等
 移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品 月次総平均法による原価法
 貯蔵品 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法
 ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法
 無形固定資産 定率法

3. 繰延資産の処理方法

① 株式交付費 支出時に全額費用として処理
 ② 創立費 支出時に全額費用として処理
 ③ 社債発行費 支出時に全額費用として処理

4. 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金
 一般債権は貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不可能見込額を計上
 ② 賞与引当金
 支給見込額のうち、当期に負担すべき金額を計上

5. リース取引の処理方法

2009年9月期よりリース物件の所有権が、借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の売買処理に係る方法に準じた会計処理により、リース物件とこれに係る債務をリース資産及びリース債務として計上する。ただし、リース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準ずる。

6. 収益及び費用の計上基準

当社では、主に一般個人向けに葬祭に係る各種サービスを施行しております。当該履行義務は、葬儀施行業務の提供が完了した時点で主な履行義務を充足することから、当該履行義務を充足した時点において収益を認識しております。

貸借対照表に関する注記

1. 担保に供している資産及び対応する債務

担保に供している資産	
建物及び構築物	246,859千円
土地	404,892千円
合計	651,752千円
上記に対応する債務	
1年内返済予定の長期借入金	61,044千円
長期借入金	412,439千円
合計	473,483千円

2. 有形固定資産の減価償却累計額 492,359千円

税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生は、賞与引当金等であり、繰延税金負債の発生は、資産除去債務に対応する建物等であります。

1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産	28,301円34銭
1株当たり当期純利益	7,141円48銭

当期純利益金額 127,118千円

以上